



「おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん」

南山幼稚園2月の園だより

平成29年2月1日



心は豊かに 体は健やかに 大きく成長しました



南山幼稚園長 明田川 輝美

1月、子どもたちは、毎日お正月遊びを楽しんでいました。年が明けたと思っているうちにもうすぐ節分、立春です。

節分は季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことで、「季節を分ける」ことを意味しています。一般的には「福は内、鬼は外」と声を出しながら福豆を撒いて、年齢の数だけ(もしくは1つ多く)豆を食べ厄除けを行うものです。いつのころからか、私の年の数の豆はあまりにも数が多すぎてお腹いっぱいになり、一度に食べられなくなってしまっているのが悲しい現状ですが・・・

豆は「穀物には生命力と魔除けの呪力が備わっている」という信仰と、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い一年の無病息災を願うという意味合いがあるそうです。まだまだ寒い日が続きますが、風邪・インフルエンザ等にかからないよう、皆様のご健康を祈念いたします。

園では、これからも日本に古くから伝わる伝統的な行事や文化に触れる機会を設け、子どもたちの健やかな成長を願い、豊かな心情を育てていきたいと考えています。

園の行事の中で、私が一番楽しみにしている行事があります。それは、毎月行っている誕生会です。もうすぐ一年が終わります。園児の4月生まれと3月生まれ、一年の違いは大きいものですが、みんな元気に健やかに成長して大きくなりました。それぞれの誕生月の園児が前に出て、みんなの前でしっかりと話をしたり、特技を披露したりする姿はいつも感動的です。年中児・年長児では、テニス・サッカー・空手・体操・ピアノ・バイオリンなど様々な特技を見せていただき、子どもたちの可能性の素晴らしさを感じております。



また、保護者の方々も誕生会に向けて、お子様の写真や楽しい話を準備していただきご協力ありがとうございました。可愛くて微笑ましい赤ちゃんの時の写真にみんなの笑みが絶えません。これから先、小学生・中学生・高校生へと成長して、どのような素敵な大人になっていくのか想像しただけでも楽しみです。

1月の誕生会の時、こんな出来事がありました。誕生会のおやつを食べ終わり、私が自分の座っていた椅子を片付けようとした時です。年長の男の子が、「園長先生、ぼくが片付けます。」と言って、さっと私の持っている椅子を奪って、収納すべき所まで持って行ってくれました。なんてカッコいい行動だったことでしょう。中高生が、部活動などで先輩の椅子を片付けたり、会社で、部下が上司の椅子を片付けたりすることはあり得るかもしれませんが、6歳にして、この機転の利きようには頭が下がる思いでした。自然にこのような行動ができることは、優しくて思いやりがあって、小さいけれど正に立派な紳士でした。きっと素敵な大人になること間違いなしですね。

また、こんな出来事もありました。雨でレインコートを着て登園してきた年中の男の子の話です。レインコートを脱いだら、登園にいつかかぶってくる帽子を忘れてきたことに気がきました。「帽子を忘れた～」と泣いて母親に訴えていました。雨のため、頭からレインコートをかぶってくるから帽子を忘れても仕方ないことなのに、その子は忘れてきたことがどうしても許せなかったようです。登園・降園には帽子をかぶるといふ決まりを守ろうとする心がけに感心しました。

子どもたちは体も大きくなりましたが、目には見えない心の方がもっと大きく成長してきていると嬉しく思いました。これからももっともっと心は豊かに体は健やかに成長してくれることを願っています。

《 正月遊びの会 》 全園児

コマ回し・羽根つき・凧揚げ・竹馬・双六・福笑い・カルタなど、日本の伝統遊びを楽しむ会にご参加いただきましてありがとうございました。

子どもたちは、失敗を繰り返しながら最後まであきらめないで頑張ろうとする心、競ったり協力したりするかわりの中で芽生える友達とのコミュニケーションなど、正月遊びを通して多くのことを習得できたことでしょう。



《 書道体験 》 年長さくら組

リオオリンピックでの感動とともに、運動会で胸にした金メダル。昨年の世相を表した「金」という漢字を初めての書道体験で挑戦して書きました。

毛筆に墨を含ませ、一画一画丁寧に心を込めて書き、太く、力強く、見事な「金」を表現することができました。何でも一生懸命に取り組む子どもたちの姿勢は素晴らしいですね。



＜今月の保育のねらい＞

◎3歳児 りんご組

- 友達とかかわりながら、自分の思いを十分に出しながら遊ぶことを楽しむ。
 - ・ 自分で場や物を選び、場を作ったり、製作したものを使って遊んだりしながら、存分に遊びを楽しめるような援助をしていきます。友達とかかわりの中で、必要な言葉や自分の思いを表現する言葉を伝えられるようにして、一人一人が思いを出しながら楽しんで遊べるようにします。
- 学級での表現遊びに喜んで参加し、楽しむ。
 - ・ 学級のみinnで過ごすことを心地よいと感じるような楽しい雰囲気の中で、自分なりに身体を動かし楽しみながら表現遊びに参加できるようにしていきます。
 - ・ 教師の話聞いて、一緒に踊ったり、動いたりして遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。
- 自分の物や遊具の始末を進んで行う。
 - ・ クレパスやハサミなどの片付け方が分かり、進んで行う姿を認めながらできるようになったという自信につなげていきます。自分が使ったものを片付ける、次の遊びに移る時や戸外に行く際は片付けてから行くなどの習慣を身に付けられるように促していきます。

◎4歳児 ばら組

- 友達に自分の思いを伝えたり、言葉や動きから相手の思いに気付いたりして遊ぶことを楽しむ。
 - ・ 気の合う友達に自分の思いを言葉で伝えたり、相手の動きや言葉から思いを感じ取ったり取り入れたりしながら遊びを進めていくことができるようにします。
- 話に沿って動いたり、必要な物を作ったりして学級で行う劇遊びを楽しむ。
 - ・ ストーリーの展開に沿って言葉を言ったり表現したりして、みんなで劇遊びを楽しみます。話の中に出てくる物を作り、使いながら楽しめるようにしていきます。
- 年長組から係や当番の仕事を教えてもらい、やってみることで年長組になることを楽しみにする。
 - ・ 誕生会の司会や当番など、年長組が行っていることを知り、教えてもらいながら取り組み、年長組になることを楽しみにできるように気持ちを高めていきます。

◎5歳児 さくら組

- 自分のめあてに向かって、最後まで諦めずに取り組む。
 - ・ 縄跳びや運動遊びに取り組み、できた喜びを自信につなげていきます。雛人形作りでは、最後まで丁寧に取り組み、作り上げた喜びを味わえるようにしていきます。
- 共通の目的に向かって、友達とイメージや考えを出し合って劇を作り、やり遂げた満足感を味わう。
 - ・ こども会に向けて、同じ役の友達とストーリーに合った動きや言葉を考えたり、必要な物を作ったりしていきます。互いの思いを受け止め合い、劇が完成していく過程を学級のみinnで楽しみながら活動を進めていきます。
- 自分たちの成長を感じたり、就学への期待を高めたりする。
 - ・ 年長組としての仕事をばら組へ引き継いでいく経験を通して、伝え方を自分たちで考えさせながら丁寧にかかわっていきます。5年生との交流では、5年生の教室で小学校の様子を教してもらったり一緒に給食を食べたりして、就学への期待感をもてるようにします。

＜南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて＞

「きもちのよいあいさつをしよう」